

「納棺夫日記」著者 青木新門氏講演会

テーマ 「いのちのバトンタッチ」

日時: 3月6日(金) 19:00~21:00

会場: 春日山実顕地楽園村会場1F



映画「おくりびと」誕生のきっかけになった「納棺夫日記」著者である青木新門さんの春日山での講演会を企画しました。

映画「おくりびと」は研鑽学校Ⅲで研鑽資料として30回以上鑑賞してきましたので、実顕地の中では話題になることがよくある映画でした。今回ふとしたことから、青木さんとの出会いがあり、青木さん自身もヤマギシ会に関心を持たれて、企画が実現しました。

青木さんはこの間、全国で二千回以上の講演会をしてきました。初めのうちは、映画『おくりびと』が2008年のアカデミー賞を受賞して、原作者と見なされての講演依頼が多かったのですが、最近では、65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の21%を超える超高齢社会を迎えての看取り介護の現場や、各市町村・教育委員会・宗教団体・生命保険会社などの団体からの講演依頼が増えています。

春日山では「いのちのバトンタッチ」をテーマに、みずからの死者の柔和な顔に接しつづける体験を通して、生にのみ価値を置いて死や死者から目をそむけている限り永遠のいのちの輝きは見えてこない、むしろ次代を担う子供たちに身近な死者に接する機会の大切さなどを語っていただく予定です。

当日は、お昼に春日山にいられて、実顕地を初めて見ていただいていたの講演になりますから、どんな話が飛び出すか、楽しみにしております。

みなさまのご来場をお待ちしております。

春日山実顕地 青木新門氏講演会実行委員会